

生物季節観測

気象台の業務は、普段みなさんがよく目にする天気予報や、注意報・警報等の気象情報を発表する予報業務のほかに関測業務があります。観測業務は大きく分けて「気象観測」と「生物季節観測」の2種類です。

「気象観測」は、気温、気圧、湿度、降水量、風向・風速、降雪・積雪の深さ等の大気現象に関する観測で、観測結果は天気予報や気象情報の発表に利用されます。

一方「生物季節観測」は、動植物の状態が季節によって変化する現象を観測し、長期的な観測結果から季節の遅れや進み、気候の違いなど総合的な気象状況の推移を知ることが目的とし、全国の気象官署で実施しています。

生物観測の種目は、日本全国に広く分布する動植物を対象としていますが、特定地方に分布しその地方の気候とかかわりの深い動植物も観測しています。また、一般の関心が高い生物も対象にしています。

例えば、皆さんの関心の高いサクラの開花・満開も生物観測の一つです。稚内地方気象台ではサクラの開花・満開以外にも、植物ではアジサイ、タンポポ、ヤマツツジの開花を観測しています。動物ではウグイスの初鳴を観測しています。

これら観測日の平年値は、4月29日がウグイスの初鳴、5月9日がタンポポ、5月11日がサクラの開花、5月13日がサクラ満開、6月4日ヤマツツジの開花、8月15日アジサイ開花となっています。

さて、今年のサクラはいつ頃咲くのでしょうか。みなさんも予想してみてくださいはいかがでしょうか。



気象状況・天気予報の確認先 稚内地方気象台（電話:0162-23-2678）

※稚内地方気象台ホームページURL

<http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html>

※問い合わせ先

稚内地方気象台(電話:0162-23-2679)

新年初句会作品

幌延ほおずき俳句会

雪達磨今日も多忙が通り過ぎ

三浦 宮吉

雪だるま笑顔泣き顔怒り顔

佐藤 光朗

雪だるま目鼻が溶けて泣いて居り

藤岡 芙美

幼な子と初の合作雪だるま

横山 貞雄

目の前に口一文字雪だるま

富樫とも子

雪だるま時節が急ぐ炭残す

熊谷千恵子

両親と共に作りし雪だるま

岩田 悠作

根を張りてどこにも行かぬ雪達磨

田中 徹男